REPAIR CARE

ドライフレックス®使用事例
モルタル・鉄部・タイル等

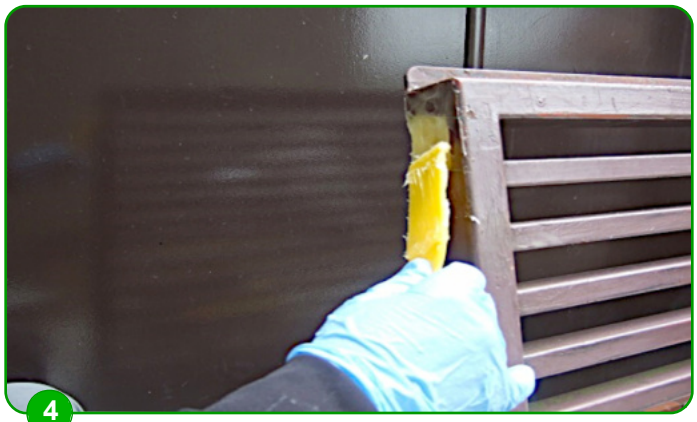
速くてきれい、抜群の作業性

鉄部門扉・腐食補修

1 マンションの門扉、下枠に腐食発生

2 扉を外し、傷みの激しい部分を切除する

3 内側は十分にケレンして、サビや汚れを除去する



4 接着面にエアを残さないように、内側からドライフレックス®を薄く押し付けする

5 必要量のドライフレックス®を充填し成形する

6 硬化後は必ず表面をサンディングすること

7 塗装して仕上げる

空洞部分・充填の仕方

- 内側の接着面は十分にケレンし、ドライフレックス®を薄く押し付けする(写真③④)
- 鉄部はプライマーで密着補強が行えないため工程③④を徹底すること
- 見えにくい空洞部分の充填には、専用のバターリングナイフをご利用ください

速くてきれい、抜群の作業性

鉄部枠・腐食補修

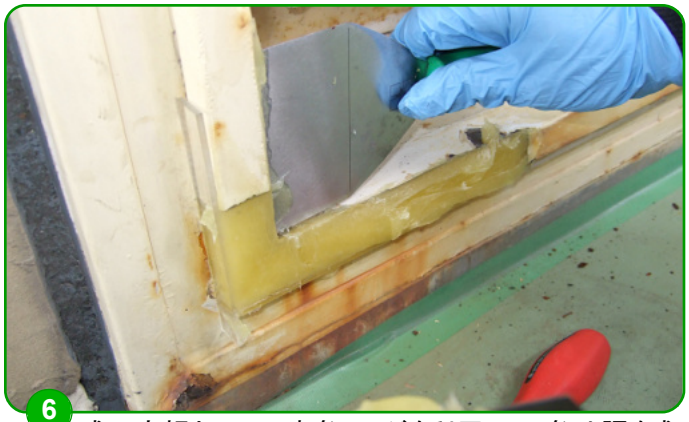
1 鉄部の枠に腐食が発生

2 補修箇所の塗膜を除去し、腐食範囲を確認する

3 傷みの激しい部分を切除する

4 内側は十分にケレンして、サビや汚れを除去する

5 接着面にエアを残さないように、内側からドライフレックス®を薄く押し付けする



6 成形定規とヘラの直角エッジを利用して、角や隅を成形する

7 硬化後、成形定規を取り外し、表面をサンディングしてから塗装する

成形定規・成形ヘラの使い方

- 三面以上の立体成形：ポリプロピレン製、専用成形定規をご使用ください（写真⑤⑥）
- 成形が損なわれないよう、定規は完全硬化してから取り外すこと
- L字部分の成形：専用成形ヘラの、直角部分をご利用ください（写真⑥）

速くてきれい、抜群の作業性

エントランス床・クラック補修

1 商業施設玄関、床にクラックが発生

2 クラックに最低10mm x 10mm のはつりを入れる

3 粉塵や汚れを除去する

4 ドライフィックス®（プライマー）を塗布

5 プライマーを20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

6 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けしてから充填成形

7 硬化後、サンディングをして塗装仕上げ

吸込みがある素地・プライマーの必要性

- ドライフレックス®は高粘度の為、素地への浸透力は高くありません
- 樹脂の密着強度を高めるために、必ずドライフィックス®（プライマー）の処理を施すこと（写真④）

速くてきれい、抜群の作業性

マンション廊下柵・クラック補修

1 共用廊下の柵にクラックが発生。表面の塗膜を除去して、クラックに最低10mm x 10mmのはつりを入れる

2 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

3 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする

4 必要量のドライフレックス®を充填し、成形する

5 硬化後、表面をサンディングする

6 塗装して仕上げる

7 作業完了

クラック補修に必要な樹脂の厚み

- クラックは最低10mm x 10mm のはつりを入れてからドライフレックス®を充填すること（写真②）
- 樹脂の適切な熱反応と追従性を維持するため

速くてきれい、抜群の作業性

マンション床タイル・クラック補修

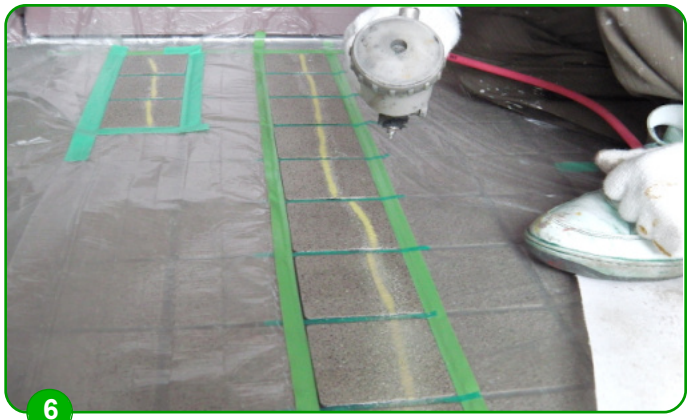
1 共用廊下のタイルにクラックが発生。
クラックに最低10mm x 10mm のはつりを入れる

2 モルタル部分にドライフィックス®(プライマー)を塗布。
20分浸透させ、その後余剰分はウエス等でふき取る

3 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする

4 必要量のドライフレックス®を充填し、成形する

5 硬化後、補修面をサンディングする



6 パターンを付けてから塗装する

7 作業完了

ドライフレックス®：補修ができないケース

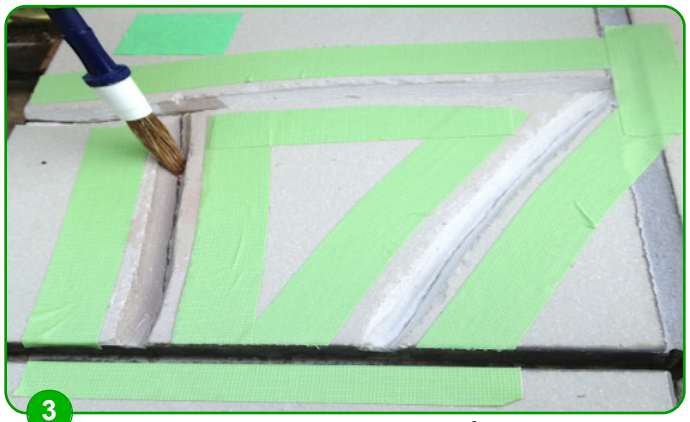
- 下地にトラブルがある場合や、下地、タイル、樹脂等に剥落・欠落のおそれがある箇所では、ドライフレックス®以外の補修をご検討ください

速くてきれい、抜群の作業性

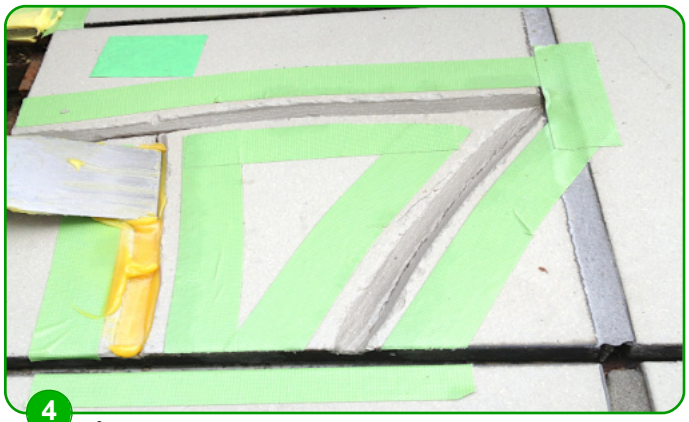
屋外床タイル・クラック補修

1 プールサイドのタイルにクラックが発生。
一部は張替え、残りは補修を行う

2 クラックに最低10mm x 10mm のはつりを入れる

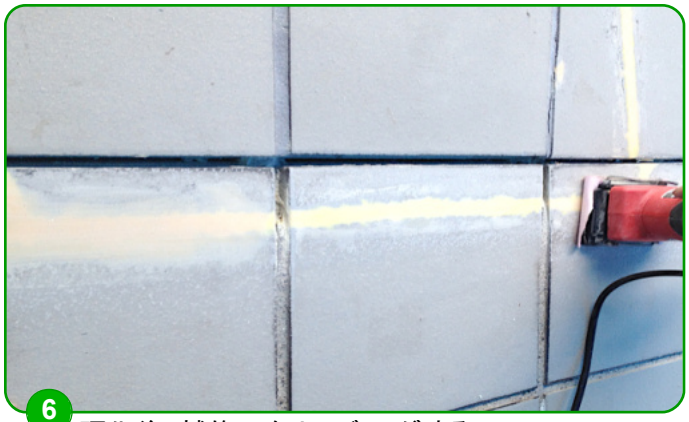


3 モルタル部分にドライフィックス®(プライマー)を塗布。
20分浸透させ、その後余剰分はウエス等でふき取る



4 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする

5 必要量のドライフレックス®を充填し、成形する



6 硬化後、補修面をサンディングする

7 塗装して仕上げる

樹脂の剥離リスクを抑制するために

- タイルに厚みが少ない場合は、下地のモルタルも含めてプライマーやドライフレックス®の処置をしてください(写真③)
- 接着力と追従性を高めるため

速くてきれい、抜群の作業性

ドライフレックス®使用手順・基本の7工程（木部・モルタル共通）

1 含水率が18%以下であることを確認する。補修箇所の塗料や汚れを除去

2 傷みの激しい部分を切除。クラック補修の場合：最低5mm x 10mmの″はつり″ を入れる（モルタル等：10mmx10mm）

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

4 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする

5 必要量のドライフレックス®で充填成形

6 硬化後、必ずサンディングをして、表面のアミン成分を除去すること（アミンの染み出しや塗料剥離を予防するため）

7 塗装仕上げ。塗装密着幅：1週間～10日

注）鉄部等吸込みがない素地補修の場合：上記プライマーの工程が不要です。

ご使用になる前に製品の仕様書及び取扱説明書をよくお読みください。これらの製品は使用方法、使用条件により本来の性能を発揮できない場合があります。製品が使用の目的・用途・条件に適合するか否か、必ず事前にご確認の上ご使用ください。

株式会社リペア・ソリューション
〒231-0011
横浜市中区太田町1-20三和ビル2-C
TEL:045-228-0833 FAX:045-228-0836
e-mail:info@repair-solutions.co.jp
https://repair-solutions.co.jp/

← 商品情報のサイトはこちら

Copyright © 2021 Repair Solution K.K. All rights reserved